

新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

「新たな情報通信技術戦略の策定」に関して私見を述べさせていただきます。

まず、「新たな情報通信技術戦略の骨子(案)」に提示された目的(情報通信技術革命の本質は情報主権の革命であり、徹底的な情報公開による透明性の向上が必要；国民が主導する「知識情報社会」の実現；過去のIT戦略の延長線上ではない、非連続な飛躍)および3つの柱と目標については、いずれも日本を持続可能社会へと導くために喫緊の重要課題であると賛同致します。

しかしながら、これらの戦略が目指すビジョンを示すことなく重点施策に入ることには戸惑いを感じます。目的で示されたことが実現した社会とは、どのような社会なのかを示し、その様な社会を実現するために何が必要で、それらに対して情報通信技術がどのように貢献できるのかを示すことが先ではないでしょうか。現在示されている重点施策案は個別に見ると大変意義のあることだと思われまます。しかし、それらを実施することが、最初に掲げた目的達成にどう繋がっていくのかが見えません。

今回の戦略で目指す社会とは、徹底した情報公開で透明性を高めた、活力ある持続可能社会であると推察しております。情報公開の手段としてICTが重要な役割を果たすことは自明の理であります。が、「徹底した情報公開」はどの様にして達成されるのでしょうか。また、情報の透明性が高まることで、どのように社会が活性化するのでしょうか。その様な社会において、個人・組織・地域社会などは、どのように変化するのでしょうか。これらの疑問に答えることなく、それぞれの重点施策を実施するということは、各具体実施策においての達成目標は、当初の戦略目的達成への貢献ではなく、各具体実施策における数値目標に置き換わる可能性が高く、過去にも多くのその様な事例が見受けられました。

素晴らしい目的を掲げながら、各施策が繋がることなくバラバラの方向を向いて実施されることが無い様に、共通の目標としていつでも見上げることが出来る、つまり、最終的に目指す方向が見える様なビジョンを示していただくことを切に願うものです。

以上